

平成30年度 第2回教育評価アンケート集計結果

【保護者】(複数の生徒が在籍している家庭は人数分の回答)

H30年12月実施

番号	設問		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	計
1	学校は、学校だよりや学年だより、ホームページなどで学校教育目標や学校生活についてわかりやすく伝えている。	人	52	66	5	0	1	124
		%	(±0)41	(+5)53	4	0	0	100
2	学校は、子どもの健康や教育に関する連絡・相談に誠実に対応している。	人	36	65	16	4	3	124
		%	(-4)29	(+4)52	12	3	2	100
3	学校は、事故防止等安全指導の徹底に努めている。	人	42	65	15	0	2	124
		%	(-2)33	(±0)52	12	0	1	100
4	学校の施設・設備や掲示物などは教育環境の面でよく整備されている。	人	54	58	9	0	3	124
		%	(+8)43	(-4)46	7	0	2	100
5	学校は、生徒理解と情報収集に努め、問題を早期に把握して素早く対応している。	人	30	55	28	9	2	124
		%	(+1)24	(-3)44	22	7	1	100
6	教職員は、協力連携して熱心に生徒の指導にあたっている。	人	33	53	28	7	3	124
		%	(-1)28	(-4)47	12	2	8	100
7	教職員は、電話や来校者に対して丁寧に対応している。	人	59	49	15	0	1	124
		%	(±0)47	(-3)39	12	0	0	100
8	学校は、小規模校の特性を生かした教育活動の充実に努めている。	人	37	59	22	3	3	124
		%	(-6)29	(-1)47	17	2	2	100
9	生徒は、学校や地域で気持ちのよい挨拶をしている。	人	34	61	23	5	1	124
		%	(-5)27	(+9)49	18	4	0	100
10	生徒は、互いに協力しながら、授業や行事にまじめに取り組んでいる。	人	38	67	12	4	3	124
		%	(-3)30	(-1)54	9	3	2	100
11	家庭では、善悪の判断や、社会のルールを守ることに教えている。	人	65	55	3	0	1	124
		%	(±0)52	(+2)44	2	0	0	100
12	家庭では、子どもに「早寝・早起き・朝ごはん」が習慣になるように努めている。	人	46	56	19	2	1	124
		%	(+1)37	(-2)45	15	1	0	100
13	家庭では、子どもと会話するように心がけている。	人	82	40	0	0	2	124
		%	(+1)66	(±0)32	0	0	1	100
14	家庭では、事故防止の意識を高めるために話し合ったり、声をかけたりしている。	人	67	54	2	0	1	124
		%	(-1)54	(+4)43	1	0	0	100
15	家庭では、スマートフォンやインターネットの使用について、セキュリティの設定や、使用時間などの約束事を決めている。または家では使わせていない。	人	41	47	22	10	4	124
		%	(+3)33	(+4)37	17	8	3	100
16	授業参観や学校行事にはできるだけ参加するようにしている。	人	41	52	23	7	1	124
		%	(-3)33	(±0)41	18	5	0	100
17	「父母と先生の会」の総会や親子奉仕作業には出席するように心がけている。	人	42	49	19	11	3	124
		%	(-1)33	(+3)39	15	8	2	100
18	地域清掃や地域行事に子どもたちが参加することはよいことである。	人	88	25	5	2	4	124
		%	(-2)70	(+2)20	4	1	3	100
19	地域の子どもに、自分からあいさつや声かけをするようにしている。	人	42	52	21	4	5	124
		%	(-1)33	(-6)41	16	3	4	100
20	住民として、地域清掃や地域行事等にはできるだけ参加するようにしている。	人	47	54	10	7	6	124
		%	(-5)37	(+10)43	8	5	4	100

※ 百分率は小数点以下切捨てのため、数値の合計は100にならない。

()内は前回(H30.7)との比較

保護者の回答に関する考察

・学校及び教職員に関する設問の半数以上で肯定率が低下している。これまで同様、設問1~4の施設・設備、掲示物等の環境や情報発信については比較的高い肯定率であるが、設問5~8の、教職員の生徒指導対応や連携、教育活動については続けて肯定率が低下しており、特に設問5については全設問中で最低の肯定率となった。このことから、保護者は生徒のトラブルや問題行動に対して困り感を感じるが増え、今まで以上に学校の指導への不満や期待が高まっていると考えられる。学校では、生徒理解と情報収集のため、様々なアンケートや教育相談を実施している。しかし、教職員が日常的に生徒と向き合う時間的・精神的なゆとりは不足しており、機会を捉えて行う面談や指導には手が回りきらない現状がある。今後は働き方改革を一層推進し、教職員の多忙解消を図ることが生徒指導問題に対する素早い対応に不可欠と考える。

・生徒に関する設問や家庭教育に関する設問については、そのほとんどで前回より肯定率が向上している。特に設問11, 13, 14については100%近い肯定率を達成しており、生徒に対する保護者の積極的な働きかけがあると思われる。また、これまで課題であった設問15のスマートフォン等の扱いについても肯定率が向上した。今後も引き続き家庭教育の充実をお願いしたい。

・PTA活動、地域活動への参加意識については概ね横ばいである。ただし設問19については続けて下降傾向にあり、地域における大人と子どもの関係性の希薄化が懸念される。自分の子どもの幸せを願うことと同様に、地域の子どもの幸せについても大切にする気持ちをもって声かけをしていただくことを願う。後援会活動や父母と先生の会の活動をとおして、地域や学校を支える一員としての保護者自身の意識向上を図り、地域全体で子どもの教育ができるよう働きかけたい。

【生徒】

H30年12月実施

番号	設問		そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	無回答	計
1	学校の施設・設備や掲示物等は適切に整備され、安全で良好な環境となっている。	人 %	67 (-6)50	54 (+9)40	7 5	3 2	1 0	132 100
2	学校は、小規模校であることを活かして授業や行事などを行っている。	人 %	62 (-1)46	54 (-1)40	11 8	5 3	0 0	132 100
3	学校は、友人関係のトラブルが少なく、落ち着いて学習できる雰囲気である。	人 %	32 (-3)24	44 (+1)33	39 29	15 11	2 1	132 100
4	学校の各教科の授業は充実している。	人 %	35 (-7)26	57 (+3)43	31 23	8 6	1 0	132 100
5	学校の行事や生徒会活動、部活動等は充実している。	人 %	67 (-4)50	54 (+10)40	7 5	2 1	2 1	132 100
6	先生方は、交通事故防止のために、日々熱心に指導している。	人 %	72 (+10)54	51 (-3)38	4 3	1 0	4 3	132 100
7	先生方は、互いに助け合い、協力して指導にあたっている。	人 %	54 (-4)40	48 (+3)36	20 15	10 7	0 0	132 100
8	先生方は、適切な言葉遣いで指導にあたっている。	人 %	45 (-6)34	47 (-2)35	19 14	19 14	2 1	132 100
9	先生方は、生徒の色々な問題や課題について一緒に考え、適切に助言してくれる。	人 %	55 (-3)41	47 (+1)35	24 18	5 3	1 0	132 100
10	私は、学校教育目標を覚えており、口に出して言える。	人 %	61 (-1)46	32 (+4)24	18 13	19 14	2 1	132 100
11	私は、学校での授業やその他活動に一生懸命取り組んでいる。	人 %	58 (-7)43	61 (+5)46	6 4	4 3	3 2	132 100
12	私は、毎日学校に来るのが楽しみである。	人 %	35 (±0)26	44 (-8)33	29 21	21 15	3 2	132 100
13	私は、「早寝・早起き・朝ご飯」等、規則正しい生活を心がけている。	人 %	50 (+5)37	47 (+3)35	25 18	9 6	1 0	132 100
14	私は、スマートフォンやインターネットを使用するときは、人を傷つけたり、トラブルに巻き込まれたりしないように気をつけている。	人 %	100 (-1)75	27 (±0)20	2 1	3 2	0 0	132 100
15	私は、ほぼ毎日、家庭学習を1時間以上やっている。(塾での勉強を含む)	人 %	62 (+4)46	39 (+6)29	18 13	12 9	1 0	132 100
16	私は、地域の方々が自分たちに声をかけてくれることが増えたと思う。	人 %	38 (+1)28	48 (+7)36	25 18	19 14	2 1	132 100
17	私は、ボランティア活動や社会貢献活動は大切だと思う。	人 %	86 (-3)65	36 (±0)27	3 2	5 3	2 1	132 100
18	私は、今年度、地域清掃や地域行事のボランティア活動等に参加した。 4回以上：2～3回：1回：0回	人 %	17 (+5)12	50 (+8)37	37 28	26 19	2 1	132 100
19	私は、今後も機会があればボランティア活動や社会貢献活動に参加したいと思う。	人 %	69 (-4)52	42 (+4)31	12 9	8 6	1 0	132 100

※ 百分率は小数点以下切捨てのため、数値の合計は100にならない。()内は前回(H30.7)との比較

生徒の回答に関する考察

・半数以上の設問で肯定率が低下した。前回調査より10%以上肯定率が低下した設問はないが、昨年度の同時期との比較では多くの設問で10%以上の低下が見られる。特に設問3,4,12など、学校生活の中核をなす設問で肯定率の大幅な低下があり、この事実を教職員は直視する必要がある。教職員は保護者や地域、関係機関と連携を深め、危機感を持って対応しなければならない。

・7月調査では、学校生活や人間関係に起因する設問における肯定率の低下は、環境の変化や新たな人間関係への適応に時間と労力を要し、不満やストレスを感じていることが要因の一つと考察した。しかし、2学期の多くの行事や体験的な活動を経た12月の調査でもさらに肯定率は低下した。多くの行事の準備に追われ、余裕のない中で実施するのではなく、生徒の実態に応じて行事や体験活動を精選し、ねらいを明確にして意図的・計画的に準備し、効果を高めて実施できるようにしたい。また、道徳教育の一層の充実を図り、よりよいリレーションづくりにつなげていきたい。

・設問3, 12についてはこれまでも最重要課題とした設問である。人間関係のトラブルがなく授業に落ち着いて取り組めること、学校に来るのが楽しみであることは、学校生活の充実のために欠くことのできない要素であることに変わりはない。一人一人の生徒に個性があり、考え方や価値観にも相違があることは自然なことであるが、自己の幸せと他者の幸せの両方を大切にできる生徒に育てたい。他者を意図的に不安、不快にしたり、見下したりして自己の優越や承認などの欲求を満たそうとする言動を厳しく指導し、すべての生徒が安心して学校生活を送れるようにしたい。

(考察:教頭 和田 賢市)